

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当	曜日	時限	授業時間	定員
近世の女性史	神崎 直美	月	3	1 時限 9:15～11:00 2 時限 11:10～12:55 3 時限 13:45～15:30 4 時限 15:40～17:25 5 時限 17:35～19:20 * 時間帯は変更される場合があります。	若干名
公立文化施設論	土屋 正臣	金	2		
経営分析Ⅱ	山田 優子	木	3		
ビジネスプランニングⅡ	杉本 理	火	3		
身近な自然科学 B	八木 創 複数教員による オムニバス形式	水	1		
実解析Ⅱ	栄 伸一郎	木	3		
漢方薬	横川 貴美 玄 美燕	火	1		
化粧品・香粧品学 B	鹿毛 まどか	火	2		
ハーブ論	須永 克佳 菊地 秀与	火	3		

ホームページ上で最新の情報を確認後、お申込み下さい。

○秋学期の授業は9月28日（月）の週から開始し、13回の予定です。祝日に授業を実施する日や大学祭等で平日休講する日があります。

○授業の曜日、時限も変更になる場合があります。

○正規学生の履修者数により取りやめになる場合があります。

○お申込み後の科目変更はできません。

○授業によっては、教室にご自身のノートパソコン等インターネットに接続できる端末を持参して頂く場合があります。大学のパソコン等機材の貸し出しはありません。

○受講に関する連絡や講義資料の配布は原則E-mail(電子メール)でお送りします。資料を受信できるE-mailアドレスでお申込みください。

○成績評価は行いません。学期末試験の受験はできません。但し授業で小テストの実施がある時は、成績評価に関わらず受けていただく場合があります。

(2) 場 所

城西大学

東武越生線川角駅から徒歩約 10 分。

※通学は公共交通機関をご利用ください。

大学シャトルバスのご利用はできません。

大学駐車場のご利用はできません。



2 受講料等

(1) 受講料 1 科目 (半期) につき 16,000 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担により用意していただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 2026 年 8 月 21 日 (金)

(2) 申込先 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

電 話 049-271-7795

E-mail extension@josai.ac.jp

(3) 申込方法

下記の Forms (受講申込フォーム) よりお申込みください。

電話・その他のお申込みは受け付けておりません。

「大学開放授業講座 城西大学 2026 年度秋学期受講申込フォーム」


<https://forms.cloud.microsoft/r/4wK9rXhwZP>

(4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。

※受講の可否および受講決定科目は、申込締切日以降に申込者全員へお知らせします。

(5) 受講手続

受講可能な方へ受講手続書類を送付いたします。期日までに書類の返送と受講料納入等の受講手続をお願いします。

お申し込みから受講開始までの期間が短くなりますのでご了承ください。

(6) その他

○一旦納入された受講料につきましては、お返しすることができません。

但し、本学の都合で開講されない場合は受講料を返金いたします。

○次に該当する行為があった場合、申し込み手続き中もしくは講座受講中であっても、受講をお断りする場合があります。この場合も、受講料をお返しすることはできません。

- a. 本学の授業実施方法、開講内容、申し込み手続き方法等に対してご賛同いただけない場合
- b. 講義の進行に影響が出る行為があった場合
- c. 本学学生や本学学生の保護者からのクレーム等を受けるような行為があった場合

以上の点につきましても、予めご了承ください。なお申し込みくださいますようお願いいたします。

4 各授業科目の概要及び担当教員

近世の女性史 (神崎 直美)	「大名夫人の紀行文を読む」 近世日本の女性史に親しむことを目的として、大名夫人が自ら執筆した紀行文を読みます。対象とする紀行文は日向国延岡藩藩主夫人内藤充真院(幕府の大老・井伊直弼の姉)が、幕末に江戸屋敷から領地の延岡に転居する旅についてまとめた「五十三次ねむりの合の手」です。その中から見所を神崎が選び、原文と神崎が作成した現代語訳と解説を共に読みます。 特に原文については、神崎が音読した後に文語独特の読み方の説明をしますので、その後に受講生全員で一斉に音読をします。文語のリズム感を実際に発声することにより体験し味わっていただくことも目的です。 講義ですがグループワークも実施します。秀逸な文章力を有した 充真院の紀行文を読み味わいながら、日本史学と日本文学を融合した授業をいたします。 教科書：随時、テキストと補足資料をデータで配布します。 その他：参考文献 神崎直美著『幕末大名夫人の知的好奇心一日向国延岡藩 内藤充真院一』岩田書院、2016年3月刊行
---------------------------	--

公立文化施設論 (土屋 正臣)	本講義は、公立文化施設の中でも特にミュージアム（博物館・美術館）を取り上げます。 近年のミュージアムは資料の収集と保存、調査研究、展示といった基本的機能に加え、市民の自己啓発支援、生活における「第 3 の場所」としての役割、地域アイデンティティの確立、観光振興といった幅広い役割を担っています。こうしたミュージアムの社会的役割の拡大と地域社会との関係の変化について教員自身の公立文化施設における実務経験に基づきながら言及しつつ、文化によるまちづくりの今日的潮流を考えていきます。このことにより、総論レベルから実務レベルまでを射程に入れ、ミュージアムの実態に即した具体的な問題解決の方法を提示する能力を習得します。 教科書：『新時代のミュージアム:変わる文化政策と新たな期待』（ミネルヴァ書房） 持ち物：ノートパソコンもしくはタブレット端末
経営分析Ⅱ (山田 優子)	会計は「ビジネスの言語」といわれ、企業にとって必要不可欠なものである。すなわち、企業は事業活動の結果を帳簿に記録し、財務諸表を作成しなければならない。 財務諸表は、企業を取り巻く利害関係者がその企業の財政状態および経営成績を理解するうえで重要なだけでなく、企業内部での経営管理にも役立つ。 本講義では、企業が外部に公表している財務諸表を利用して行う財務諸表分析と、企業内での業績管理（利益管理、資金管理等）のさまざまな手法を理解することを目標としている。 本講義の目標は、財務諸表の構造・読み方・分析等の応用知識（ビジネス会計検定 2 級合格程度）を習得することである。 講義は毎回「(前半) 知識のインプット・(後半) ワークショップ」のセットで行う。会計学に関心があり、ワークショップや課題にも主体的に取り組む意欲のある学生を歓迎する。 教科書：『ビジネス会計検定試験 公式テキスト 2 級』中央経済社 持ち物：必ず電卓を持参すること その他：担当教員は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティングの実務経験があり、企業の実例を織り交ぜながら講義を展開する。

ビジネスプランニングⅡ (杉本 理)	皆さんが生活していく上で、あるいは就職後であれば働いていく上で、「もっとこうであつたら便利なのに」、「こんな製品もしくはサービスがあつたらいいのに」、「もっと安くできないの?」と覚えることがあると思います。世の中の多くの人が不便だと思っていることを解決したり、生活をより楽しくすることがビジネスの基本です。ビジネスが存続していくためにはそのビジネスが何らかの形で「世間に貢献」しなければなりません。この講義では教員自らの起業経験や最近頻繁に行われている大学生によるビジネスプラン・コンテスト、海外のビジネススクールで使われているケーススタディなども参考にしながらビジネスプラン（新規事業計画書）を作成します。 ビジネスプランニングⅡでは日本でのビジネスプラン・コンテストをさらに分析し、議論します。また、スタートアップの評価額、資金調達、Exit 時のキャピタルゲイン（投資家のメリットデメリット）について学びます。さらにビジネスプランの中では最も重要な財務諸表を理解し、予測 PL・予測 BS が作成できるようにします。 教科書：なし 持ち物：パソコン、マイクロソフト・エクセル、パワーポイント
身近な自然科学 B (八木 創)	自然科学と日常生活との結びつきを主題に、化学・生命科学科各教員が得意分野を中心として趣向をこらした講義をオムニバス形式で行います。以下のようなテーマを扱う予定です。 半導体 動物の性一性染色体とホルモン 微生物が秘める大きな可能性 遺伝子操作にできること 色の化学 化学の黎明 匂いって何？ 小さくても無視できないムシの脳 身近な機能性物質～磁石の起源とその応用 ディスプレイ材料 身近な名前を持つ化学物質たち 生活と放射線—放射線の生体への影響と産業利用 あまーい化学漫談 教科書：使用しません 持ち物：筆記用具

実解析 II (栄 伸一郎)	リーマン積分の限界を考察し、その拡張であるルベーグ積分の概要と利点の理解から始め、ルベーグ積分論の全体像を教授する。可測関数や可測空間の定義、Egorov の定理の紹介を行い、最終的にルベーグの収束定理の証明を与えることを目標とする。それぞれに数学的に厳密な証明法を丁寧に解説することにより、ルベーグ積分論の理解と運用を行うための数学的技法を修得する。 教科書：吉田耕作著、測度と積分、岩波講座基礎数学、岩波書店 持ち物：ノート
漢方薬 (横川 貴美) (玄 美燕)	【授業の方法・講義手法の概要】 配布資料に基づき講義形式で行う。 漢方医学の考え方、代表的な漢方処方について体系的に理解し、現代医療で使われる生薬・漢方薬について理解することを目的とする。漢方医学は中国で生まれ、日本で独自に発達した医学である。漢方の歴史、漢方・中医学の特徴について学び、漢方薬の薬効、生薬の薬能、頻用漢方処方の適応となる証、症状や疾患に関する知識を習得する。 教科書：なし

化粧品・香粧品学 B (鹿毛 まどか)	授業の概要： 皮膚科学を基盤に、化粧品の分類、成分、スキンケア・メイクアップ・ヘアケア製品の仕組み、安全性評価、品質管理、官能評価、研究開発プロセスまでを体系的に学びます。 1 回目テーマ 化粧品と皮膚科学の基礎 2 回目テーマ 化粧品の分類と役割 3 回目テーマ 化粧品成分①：保湿成分・油性成分 4 回目テーマ 化粧品成分②：界面活性剤・乳化剤・増粘剤 5 回目テーマ 化粧品成分③：機能性・美容成分 6 回目テーマ スキンケア製品 7 回目テーマ メイクアップ製品 8 回目テーマ 毛髪・頭皮とヘアケア製品 9 回目テーマ 香料・感性科学・官能評価 10 回目テーマ 化粧品の安全性評価と品質管理 11 回目テーマ 皮膚機能評価とエイジングケア 12 回目テーマ 化粧品研究開発プロセスと製品化 13 回目テーマ まとめ 授業の方法： パワーポイントのスライドに基づいて講義形式で行います。 教科書：なし 参考資料：日本化粧品検定 1 級対策テキスト（主婦の友社） 日本化粧品検定 2 級対策テキスト（主婦の友社） 持ち物：特になし
ハーブ論 (須永 克佳) (菊地 秀与)	【授業の方法・講義手法の概要】 配布資料に基づき講義形式中心で行いますが、グループワークとプレゼンテーションも行います。 ハーブとは香草や薬草と邦訳され、人の生活に役立つ植物を指します。その中で人の健康維持のために利用しようとするものはメディカルハーブと呼ばれます。現在、健康志向が高まり、自分の健康を自分で守るという「セルフメディケーション」が推進されており、メディカルハーブの活用が進められています。さらにメディカルハーブは、機能性表示食品や健康食品の素材としても注目されています。 本講座ではメディカルハーブをセルフメディケーションに安全かつ有効に活用するための知識、すなわち機能性（作用）、有効成分、安全性、使用方法、医薬品との相互作用などについて修得することを目的とします。また、メディカルハーブを活用するアロマセラピーやハーブ療法など植物療法（フィトセラピー）の概要についても学びます。 教科書：配布資料